

雪で、電気のいらぬ冷蔵庫。

雪の冷熱エネルギーで、ヒット商品ぞくぞく!
人口4,000人の「雪のまち宣言」。



地元産の米を雪冷熱で保存した「雪中米」。新エネルギーとしての「雪」を、産業に結びつけ、まちの活性化を図る。

雪冷熱を地域資源として活用する取り組みが、北海道で注目されています。

北海道でも有数の豪雪地帯、沼田町では、雪の「冷熱エネルギー」を活用した世界初の米貯蔵施設「スノークールライスファクトリー」を建設。ここに貯蔵された米を沼田産「雪中米」として出荷しています。公共施設に「雪冷房」を導入するほか、雪冷熱を活用した農作物の栽培や、学校では独自の「利雪学習」を実施。温泉旅館では「雪中そば」など、地域の食材を使った料理を提供しています。最近では個人住宅や店舗に雪冷房が採り入れられるなど、町民の間でも雪利用の取り組みが広がっています。



雪と共生するまちづくりを目指し、雪と親しむためのイベント「輝け雪のまちフェスタ」も開催している。



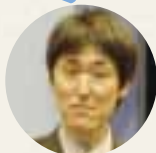
雪の冷熱で、米の保存に最適な環境を作るスノークールライスファクトリー。

講評

イベントの開催、環境学習、公共施設への雪冷房導入など多くの町民を巻き込んだ取り組みを実施、CO2削減効果も秀でています。昔から悩まされてきたであろう雪を利用し「禍転じて福と為す」を実現し、地域の特性を活かした好例。町ぐるみの活動という点で評価できます。産業との結びつきが強く、今後の広がりも期待できます。

受賞者コメント

沼田町 地域開発課 地域振興対策官 小玉 好紀
町全体で雪利用の取り組みを進めています



北海道代表になったことだけでも驚きでしたが、全国大会で「銅賞」という非常に高い評価を得たことは、これまで雪利用に携わってきた我々にとってこの上ない喜びです。沼田町は小さな田舎町ですが、これからも町全体

で雪利用の取り組みを進めていきます。北海道にお越しになる機会があれば、真夏でも雪が見られる「雪と共生するまち沼田町」にぜひお越しください。雪利用の施設や町民の活動をご案内させていただきます。

団体名:沼田町
所在地:北海道雨竜郡沼田町
ウェブサイト:<http://www.town.numata.hokkaido.jp/>

都道府県大会の名称 北海道を元気に! 温暖化防止一村一品応援プロジェクト～「食」編～